

## 質 問 回 答 書

件名:国語科の資質・能力の育成や意識の醸成に寄与する学校での学習活動に関するデータ分析・検討業務委託

※表記や用語を統一するため、質問書の原文から一部文言を変えて記載している場合があります。

資料・項目	質問	回答
業務説明資料 2 業務の詳細 4 スケジュール	スケジュール 11月中旬に開催予定の「横浜教育データサイエンス・ラボ」について、開催日はすでに確定しておりますでしょうか。データクレンジングの作業量や有識者との日程調整など不確定な要素がいくつかあるため、公募資料に記載された業務を9月から漏れなく実施する場合、11月中旬の開催が難しくなる可能性がございます。11月下旬～12月上旬への開催時期の変更に余地があるかどうか、あわせてご教示ください。	現時点で開催日は決定しておりません。昨年度は11月21日に開催しました。
業務説明資料 2 業務の詳細 4 スケジュール	スケジュール 「令和8年度以降のプロジェクト研究方針についての提案」の提案時期が12月上旬となっておりますが、こちらは分析工数や分析スケジュールに応じて変更のご相談をすることは可能でしょうか。(例えば1月中旬など)	相談は可能ですが、年内の提案が望ましいと考えています。
業務説明資料 2 業務の詳細	アンケート調査 第2回、第3回児童生徒アンケート調査実施については、アンケートフォームの作成(例えばGoogleフォーム)、アンケートに関する問合せ対応窓口などが必要と思われるますが、横浜市様側でご対応頂ける(受託者側の作業対象外)との認識でよろしいでしょうか。	アンケートの実施については、横浜市側で対応します。
業務説明資料 2 業務の詳細	アンケート調査 児童生徒アンケート調査において、生徒以外(例えば教員や司書など)を調査対象に加えることは可能でしょうか。	教職員向けアンケート調査として、実施することは可能です。ただし、全ての教職員から収集することは困難です。
業務説明資料 2 業務の詳細 4 スケジュール	有識者ヒアリング データ分析後の有識者ヒアリング回数は1回と考えてよろしいでしょうか。最終承認までに複数回必要な場合、スケジュール確保により他のスケジュールに大きく影響することが懸念されます。	業務説明資料のスケジュールにある10月に1回、2月に1回を想定していますが、それぞれ1回ずつヒアリングをする予定です。
業務説明資料 2 業務の詳細 提案書作成要領 6 提案書の内容	次年度引継ぎ 本年度中に引継ぎ事業者が決定している想定でしょうか。(次年度事業者との会議等のコミュニケーションが発生するか、引継ぎ用のデータセットを用意するだけで良いかの観点になります。)	本年度末には決定する想定です。次年度プロジェクトの方針を含んだ報告書、データセットの準備をお願いします。
業務説明資料 3 使用するデータの想定	使用するデータの想定 「①横浜市学力・学習状況調査結果データ」は何年分のデータを共有いただけますでしょうか。	最大で、令和4年度～令和7年度の4か年分です。
業務説明資料 3 使用するデータの想定	使用するデータの想定 上記に関連して、「①横浜市学力・学習状況調査結果データ」を複数年共有いただける場合、各年度のデータフォーマット(設問内容、設問の順番など)は同一となっておりますでしょうか。	データフォーマットは共通です。設問内容について、教科に関する調査は毎年異なる問題を出題しています。生活・学習意識調査は令和4～7年度は同一設問です。
業務説明資料 3 使用するデータの想定	使用するデータの想定 9月末に確定予定となっている「①横浜市学力・学習状況調査結果データ」につきまして、データのご提供時期はいつ頃を見込まれておりますでしょうか(9月末にご提供いただけるのか、あるいは10月のいつ頃になるか)。また、確定データの共有時期によっては、7月末の速報値をもとに「横浜教育データサイエンス・ラボ」で発表するための分析を進めることは可能でしょうか。	9月30日に横浜市が取得しますので、10月初旬にお渡しできる想定です。また、7月末の速報値をもとに「横浜教育データサイエンス・ラボ」で発表するための分析を進めることは可能です。
業務説明資料 3 使用するデータの想定	使用するデータの想定 7月の「①横浜市学力・学習状況調査結果データ」速報値の段階で、IRTスコアデータ、ローデータ、属性表、生活・学習意識調査は共有いただける認識でよろしいでしょうか。	7月の速報値の段階では、ローデータ(教科に関する調査結果、生活・学習意識調査結果)、属性表は共有できます。IRTスコアデータは8月上旬に推定結果が出ます。
業務説明資料 3 使用するデータの想定	アンケート調査 「①横浜市学力・学習状況調査結果データ」が入手出来ている学生全員に対して「④読書に関するアンケート調査」への参加を促される認識でよろしかったでしょうか。その際に、何%くらいの学生から回答が得られるか、過去の同様の調査を実施された際の実績を基にご教示いただけますでしょうか。	④読書に関するアンケート調査は、電子書籍サービスを導入する横浜市立小学校、義務教育学校、特別支援学校を対象として実施します。①横浜市学力・学習状況調査は、全小学校・中学校・義務教育学校で実施しています。④は今回初めて実施する調査のため、回答の割合は不明です。
業務説明資料 3 使用するデータの想定	使用するデータの想定 ①横浜市学力・学習状況調査において、結果データだけでなく設問内容もご提供いただけるのでしょうか。(例えば、国語科の調査で「読む力」を測る設問は、具体的にどのような設問内容となっているか等を知りたいと考えています)	教科に関する調査については、設問ごとに正答情報、領域等、観点、設問のねらい等が記載された「属性表」を提供することが可能です。また、必要に応じて、調査問題も提供が可能です。調査問題は今後も使用する可能性があるため、非公開としています。取扱いには注意してください。